

新指定の文化財

天然記念物

こちちぶわんたいせきそうおよ かいせいほにゆうるいかせきぐん 古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群

平成28年3月1日指定

所在地：秩父市下吉田、大野原（秩父市所在分）

所有者：国、秩父市、個人（秩父市所在分）

古秩父湾の誕生から消滅までの環境を示す露頭6件と埼玉県立自然の博物館所蔵のパレオパラドキシアをはじめとする海棲哺乳類化石群で構成されている。

秩父市には、浅海から深海に運ばれ堆積したタービダイトと呼ばれる縞々模様の地層がみられる「取方の大露頭」とパレオパラドキシア大野原標本が産出された「大野原パレオパラドキシア化石産地」がある。

※露頭は、小鹿野町の「犬木の不整合」、「ようばけ」、皆野町の「前原の不整合」、横瀬町の「新田橋の礫岩露頭」が同時に指定されている。



取方の大露頭

国指定重要無形民俗文化財

ちちぶよしだ りゆうせい 秩父吉田の龍勢

平成30年3月8日指定

所在地：秩父市下吉田

保護団体：吉田龍勢保存会

椋神社の秋季例大祭に、龍勢と呼ばれる打ち上げ式の煙火を製造し、五穀豊穰や天下泰平等を祈願して奉納する。

龍勢は、松材をくりぬいた火薬筒に黒色火薬を詰めてタガを掛け、竹製の矢柄を取り付けたもので、全長は約20m、「農民ロケット」と呼ばれている。龍勢の製造と打ち上げは、耕地と呼ばれる小集落を基礎とする27の流派ごとに行われ、この流派が製造技術や仕掛け等に独自の伝承と系統を持つ。

例大祭当日は、芦田山の麓の檜から、30本の龍勢が一日かけて打ち上げられる。口上のあと点火された龍勢は白煙を噴きながら300mほど上空まで舞い上がり、背負物と呼ばれる落下傘や唐傘、有色の花火玉等の仕掛けを空中で鮮やかに展開させる。



*公開日：10月第2日曜日

県指定天然記念物

おおやまざわ 大山沢のシオジ林^{りん}

平成25年3月12日指定

所在地：秩父市中津川字大山沢 530

番地の一部

所有者：埼玉県

シオジは、関東以西における太平洋側の山地溪流沿いに断続的に分布する落葉広葉樹であり、シオジ林は、太平洋側の湿性の極相林の代表である。

大山沢のシオジ林は、規模も大きく、埼玉県の自然を特徴づける植生の一つと言える。



県指定有形文化財（歴史資料）

たかぎしけもんじょ 高岸家文書

8通

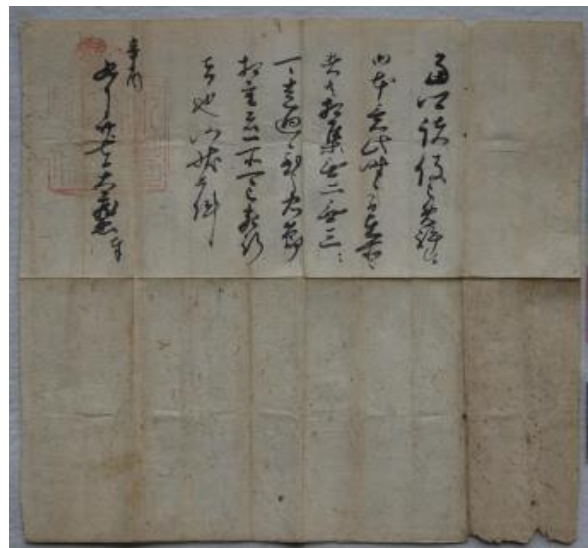
平成29年3月24日指定

所在地：秩父市上吉田

所有者：個人

武蔵国秩父郡上吉田村（現秩父市）の旧家、高岸家に伝来した16世紀後半の文書8通（写し3通を含む）。内訳は、北条家朱印状（^{ほうじょうけしゅいんじょう}差出人が朱印を押した公文書）2通、北条氏邦朱印状1通、北条氏邦判物（^{ほうじょうしゅくに}差出人が花押を書いた公文書）1通、北条氏邦感状（^{はんもつ}武将が戦功のあった者に与える賞状）の写し3通、用土新左衛門尉書状（手紙）1通。

本文書群は、北条氏の秩父地方における軍事行動、家臣団編成、領国支配、戦国時代の山間村落の実態を伝える史料として学術的な価値が高い。



国登録有形文化財（建造物）

きゅうすね や おりものこうじょう

旧 強谷織物工場

令和元年 9 月 1 0 日 登録

所在地：秩父市山田 1660-1 他

所有者：個人

昭和 5 年に建てられ、昭和中期改修された市街地東北方にある旧絹織^{けんしよく}工場。木造平屋建、四連の^{のこぎり}鋸屋根棧瓦葺、屋根北面は鉄板葺で、天窓を設けている。内部は間仕切り壁等のない一室の空間で、西南北三面に出入口を設け、各棟通りの三間ごとに柱を立てている。構造は外壁下見板張、トラス小屋組となっており、絹産業で栄えた近代秩父の様相を伝えている。



登録基準：「一 国土の歴史的景観に寄与しているもの」

国登録有形文化財（建造物）

とちややさかじんじゃぶたい

栃谷八坂神社舞台

令和元年 9 月 1 0 日 登録

所在地：秩父市栃谷 402-2

所有者：八坂神社

明治 32 年に建てられ、昭和 25 年頃と平成 26 年改修された秩父盆地北部の神社にある地芝居（農村歌舞伎）のための舞台で、境内西側の広場に東面している。寄棟造棧瓦葺の平屋建、正面は出桁造とし、^{さしもの}差物を通して全面開放が可能である。舞台は前二間を表、奥三間を裏とし、裏には可動式の二重舞台を備えており、秩父地方の神社附設舞台の稀少な遺構である。



登録基準：「二 造形の規範となっているもの」

県指定無形民俗文化財

秩父川瀬祭の川瀬と屋台の行事

令和3年7月30日指定

所在地：秩父市内

所有者：川瀬祭保存会

川瀬祭は、お祇園とも呼ばれている。19日夜半、各町内の若者が大太鼓をかつぎ道楽を奏でながら荒川竹の鼻河原に行き神酒、神饌を供え、水をもらって帰り、町内八坂神社仮宮に供えたり、町内の辻にまくお水取り行事が行われる。清い水の力によってけがれを洗い落とす。また、明治17年以降笠鉾等が建造され、付け祭りとして屋台4基、笠鉾4基が曳行される。

*公開日：7月19、20日



県指定有形文化財（彫刻）

木造飛天像

令和5年3月17日指定

所在地：秩父市中町25番12号

所有者：今宮坊

札所14番今宮坊に安置されている飛天像は、高さ30.3cmの木彫りで、金箔押し蓮華れんげを持ち跪座して雲に乗る姿である。樺の一本造で平安時代初期の優秀作である。福島県河沼郡湯川村の勝常寺しょうじょうじに所在する木造薬師如来坐像（国宝）光背の飛天像と酷似し、本来は同像と一具のものであった可能性が高い。伝来については不詳であるが、少なくとも18世紀後半からは今宮坊にて巡礼者の信仰対象となっていたことが明らかになっている。秩父札所の中でも異色の仏像として注目されている。



県指定有形文化財（建造物）

みつみねじんじゃ
三峯神社

昭和36年3月1日指定
令和5年3月17日追加指定・名称変更

ほんでん
本殿

つげたり むなふだいちまいほぞ ぼくしよ いっほん
付 棟札一枚柄（墨書） 一本

はいでん
拝殿

ずいしんもん
隨身門

くにとこたちじんじゃ
国常立神社

やまとたけるじんじゃ
日本武神社

ちようずしゃ
手水舎

ちちぶのみやだいらんきねんかん
秩父宮台臨記念館

所在地：秩父市三峰 298 番地

所有者：三峯神社

ほんでん
本殿

本殿は寛文元年（1661）江戸時代初期の建立で、一間社、春日造、石積の壇上に立ち、正面と両面の縁をまわし、^{こうらん}勾欄をつけ、屋根は銅板葺、総体に木割も太く、堂々とした格調高い建造物である。

また、「寛文元年霜月廿日」の銘ある棟札が現存し、中興第六世 ^{りゅうよ}竜 誉法印が願主になって造営したことが知られるが昭和34年の解体修理の時、明暦元年（1655）の墨書名のある柄が^{ほぞ}発見されている。

なお、寛文元年建立の本殿は再建で、その前の旧本殿は、境内の東照宮の上舎^{うわや}として現存し、当社に残る唯一の貴重な室町時代の建造物である。



はいでん
拝殿

拝殿は寛政12年（1800）に再建された。正面5間、側面3間、入母屋造の銅板葺。正面向背1間、背面張出2間。本殿と同様に柱は黒漆、壁面は朱塗、組物やかえるまた慕股などには極彩色が施される。内部は一面格天井を張る。



ずいしんもん
隨身門

隨身門は寛政4年（1792）に再建された。大工棟梁は妻沼の林兵庫正信。屋根形式は切妻造の銅板葺で軒唐破風が付く。県内有数の大規模な八脚門。軒唐破風に極彩色の彫刻をあしらう。

表参道からここを通るのが古来の正参道であった。



くにとこたちじんじや
国常立神社

国常立神社は正保3年（1646）に再建、宝暦11年（1761）に再々建された。現在の社殿は宝暦期のものである。祭神は国常立命。くにのとこたちのみこともとは本地堂または護摩堂と呼ばれ、十一面観音立像と不動像が安置されていた。近世期まで護摩堂であったものを改変して神社とした。



やまとたけるじんじゃ
日本武神社

日本武神社は嘉永6年（1853）に再建されたものである。かつての役行者堂を神社としたもので、向拝を持つ妻入社殿の典型的な構造を持つ。虹梁等に彫り込んだ絵模様や彫刻は時代をよく表している。



ちょうずしゃ
手水舎

手水舎は嘉永6年（1853）建立。屋根は切妻造両軒唐破風。四面に極彩色の彫刻をあしらう。社殿全体の配置の中で重要な位置を占めるものであり、彫刻は当初のまま残っている。



ちちぶのみやだいらんきねんかん
秩父宮台臨記念館

大正14年（1925）、秩父宮雍仁親王の三峯神社参拝を機に、複数の施設が新設された。秩父宮台臨記念館はその内の1棟で、昭和6年（1931）竣工。木造平屋造の寄棟造（一部方形屋根）、鉄板瓦棒葺。神社所有の建物でありながら宮殿建築の性格を有する。

設計者の関根要太郎（1889～1959）は秩父の生まれで、台臨記念館は秩父地域に現存する唯一の関根作品である。



『秩父市の文化財』正誤表

指定解除

頁	名称	備考
p51 下段	秩父織物ほぐし捺染保持者	平成22年10月21日付解除
p74 下段	棕神社の龍勢	平成30年3月8日付解除(国指定のため)
p110 下段	上影森のカヤ	平成23年3月18日付解除
p111 上段	岩棚のキンモクセイ	平成30年2月27日付解除
p81 上段	川瀬祭の民俗行事	令和3年7月30日付解除(県指定のため)
p33 下段	札所14番 長岳山今宮坊の飛天像 1 軀	令和5年3月17日付解除(県指定のため)

正誤表

頁	文化財の名称	誤	正
p12 上段	内田家住宅 1 棟	管理者 江戸時代後期	所有者 江戸時代中期
p13 下段	旧秩父橋 1 基	橋長 134.4m	橋長 134.6m
p20 下段	内田家住宅 1 棟	建築年代は 17 世紀	建築年代は 17 世紀末
p22 中段	平石馬頭尊堂 1 棟	昭和 54 年	昭和 53 年
p25 下段	寺沢の寝入り観音堂 漢土二十四孝絵図	漢土二十四孝絵図	漢土二十四孝絵図
p30 上段	三峯神社の御正体(懸仏) 1 面	武州児玉郡金屋住 中村次郎太郎 天文一四年	武州児玉金屋住 中林次郎太郎 天文十四年
p32 上段	巡礼納札 6 面	赤萩伊豆守	赤萩伊豆守
p32 下段	札所 26 番の勝軍地藏菩薩立像 1 軀	環甲の袈裟	環甲の袈裟
p33 上段	札所 14 番 長岳山今宮坊の飛天像 1 軀	藤原時代後期	櫺の一木造で平安時代初期
p36 中段	薬師如来立像 1 軀	荒川上田野 3112 番地 3	荒川上田野 2112 番地 3
p39 中段	太田部新井家文書 一括	秩父市	太田部区
p42 上段	旧埼玉県繊維試験場秩父支場本館 1 棟	繊維試験場	繊維工業試験場
p42 中段	旧埼玉県繊維試験場秩父支場工場棟 1 棟	繊維試験場	繊維工業試験場
p42 下段	旧埼玉県繊維試験場秩父支場倉庫 1 棟	繊維試験場	繊維工業試験場
p70	秩父祭の屋台行事と神楽	秩父祭保存会 12月3日秩父神社	秩父祭保存委員会 12月3日を中心に秩父神社
p71 上段	秩父神社神楽	公開日: 2月節分(節分追儺祭) 4月4日(御田植神事) 7月19・20日(川瀬祭) 9月27日(末社諏訪神社例祭) 12月3・6日(例大祭)	公開日: 1月2日 2月節分(節分追儺祭) 4月4日(御田植神事) 5月3日(秩父宮祭) 7月20日(川瀬祭) 12月2・3・6日(例大祭)
p73 上段	貴布祢神社神楽	土地の人々を～(中略)受けさせた	土地の人々数人とともに江戸に上り、三十六座の舞と囃子の手ほどきを直々に受け修得し
p75 上段	白久のテンゴウ祭り	公開日:11月第3土曜日	休止中
p75 下段	棕神社御田植祭	公開日:3月3日	公開日:3月第1日曜日
p76 上段	秩父神社御田植祭	秩父神社御田植保存会	秩父神社御田植祭保存会
p78 下段	矢行地の獅子舞	公開日:10月第2日曜日	公開日:10月第1または第2日
p79 下段	琴平神社の神楽	公開日:10月体育の日	公開日:1月10日、4月第1または第2日曜日、9月末～10月上旬の日
p80 上段	秩父歌舞伎正和会	秩父市上宮地町(中略)	秩父市下宮地町
p81 中段	諏訪神社神楽	公開日:10月体育の日	公開日:4月第1日曜日、9月最終日曜日
p86 下段	三峯の神楽	公開日:4月8日	休止中
p87 下段	日向の獅子舞	公開日:10月9日	公開日:10月第2土曜日
p102 中段	高野佐三郎遺跡(明信館本館及び遺品一式)	高野佐三郎遺跡(明信館本館及び遺品一式) 中町21番5号	高野佐三郎遺跡附佐三郎遺品一式・道場(明信館本館) 中町1590番地(明信館本館)
p105 下段	万葉歌碑	平成8年6月に建立した	平成7年に除幕した
p106 中段	翁塚 芭蕉句碑	安政3年(1856)	安政2年(1855)
p109 上段	子ノ神の滝	海木棲貝類化石	海棲貝類化石

p118 下段	蓼沼のクワ	たでぬ	たでぬま
p126 右下	熊倉城跡（城館跡）	荒川日野字呑だ熊 1285 ほか	荒川日野字呑だ熊 1825 ほか

指定文化財件数（7 ページ）

令和 5 年 3 月 17 日現在

種別	国指定等文化財		県指定等文化財		市指定文化財		合計	
	種類	件数	種類	件数	種類	件数		
有形文化財	重要文化財	建造物	1	建造物	4	建造物	17	22
		絵画	0	絵画	1	絵画	5	6
		彫刻	0	彫刻	3	彫刻	12	15
		工芸品	0	工芸品	3	工芸品	14	17
		古文書・書跡・典籍	0	古文書・書跡・典籍	3	古文書・書跡・典籍	12	15
		考古資料	0	考古資料	1	考古資料	0	1
		歴史資料	0	歴史資料	2	歴史資料	1	3
	計	1	計	17	計	61	79	
	登録有形文化財(建造物)	31					31	
	計	31					31	
小計	32	小計	17	小計	61	110		
無形文化財	重要無形文化財	0	無形文化財	0	無形文化財	0	0	
民俗文化財	重要有形民俗文化財	1	有形民俗文化財	4	有形民俗文化財	28	33	
	重要無形民俗文化財	2	無形民俗文化財	9	無形民俗文化財	34	45	
	選択無形民俗文化財※	3	選択無形民俗文化財	2			5	
	小計	6	小計	15	小計	62	83	
記念物	史跡	1	史跡	6	史跡	46	53	
	名勝	0	名勝	1	名勝	2	3	
	天然記念物	1	天然記念物	10	天然記念物	22	33	
			旧跡	6			6	
小計	2	小計	23	小計	70	95		
総計		40		55		193	288	

※「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」を表す。

○ふるさと文化財の森

名称	材種	設定年月日	所在地
東京大学秩父演習林	木材（サワラ）	平成 20 年 3 月 28 日	大滝
秩父市栃本市有林	檜皮、木材（ヒノキ、スギ）	平成 31 年 3 月 20 日	大滝

○国指定天然記念物

地域を定めず指定したもの（うち埼玉県が主な生息地に含まれるもの）

指定種別	指定名称	指定年月日
特別天然記念物	カモシカ	昭和 30 年 2 月 15 日
天然記念物	ヤマネ	昭和 56 年 6 月 26 日